

平成19年2月分電力需給状況

需要の概要

平成19年2月の販売電力量は、23億5千1百万kWh時、前年比 99.9%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、記録的な暖冬の影響などから、前年比 98.6%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比 98.6%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学など主要な業種が前年を上回ったことから、前年比 105.5%となった。

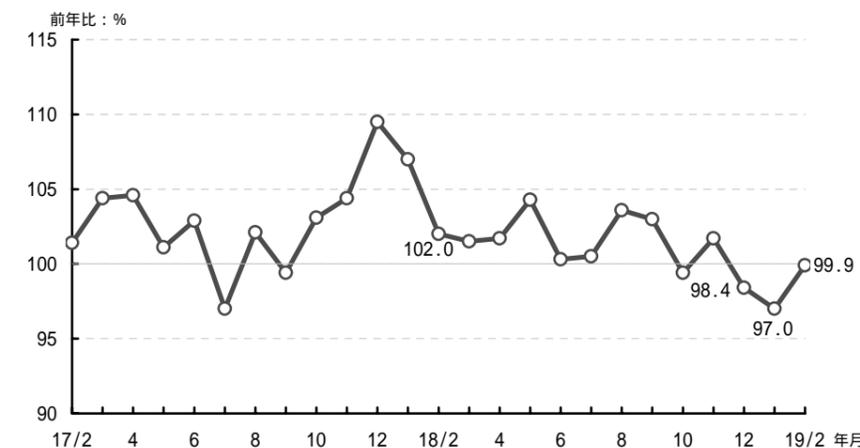
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	881	98.6
	電 力	181	94.5
	計	1,062	97.8
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	459	98.6
	産業用電力	830	103.4
	うち大口電力	(648)	(105.5)
	計	1,289	101.6
販売電力量 計		2,351	99.9
融 通		609	148.8

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		19/2月	19/1月	18/12月
紙・パルプ	125	114.5	101.7	105.1
化 学	137	105.9	104.6	106.1
鉄 鋼	77	100.0	100.9	101.7
機 械	128	100.4	100.3	100.3
そ の 他	181	105.7	107.9	107.4
合 計	648	105.5	103.6	104.6

(参考2) 4県都平均気温

()

	19/1月				19/2月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	7.5	7.4	7.3	7.4	8.5	9.1	9.5	9.0
平年差	1.1	1.7	2.0	1.6	3.2	2.6	3.0	2.9
前年差	2.8	0.2	1.3	1.4	3.3	1.7	0.2	1.8

供給の概要

- 原子力は、前年の定検の反動により、前年比 127.9%となった。
- 水力は、湯水により、前年比 60.8%となった。
- 火力は、原子力の増などにより、前年比 98.5%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比	備 考
原子力	(44)	1,393	127.9	出水率 69.9% (18年2月出水率 148.8%)
水 力	(4)	121	60.8	
火 力	(52)	1,633	98.5	
発受電計	(100)	3,147	106.8	
その他		9		
供 給 計		3,138	106.5	

注：()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(99.3) 535	(99.3) 382	(101.4) 825	(98.7) 609

注：()内は前年比